

産業廃棄物処理計画書	
令和〇〇年〇〇月〇〇日	
(宛先) 埼玉県知事	ホームページへ掲載するので、押印は必要ありません。また代表者以外の担当者名等の個人名は記載しないでください。
提出者	住 所 さいたま市〇〇区〇〇△-△-△ 氏 名 〇〇建設株式会社 代表取締役 埼玉太郎 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
	電話番号 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	〇〇建設株式会社 〇〇支店
事業場の所在地	さいたま市〇〇区〇〇△-△-△
計画期間	令和〇〇年 4月 1日から令和〇〇年 3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	建設業 総合工事業
②事業の規模	〇〇〇〇万円
③従業員数	〇〇〇人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	がれき類 → 破碎 → 再生砕石として再生利用 木くず → 破碎 → チップとして再生利用 → 焼却(委託) → 最終処分場で埋立処分(委託)

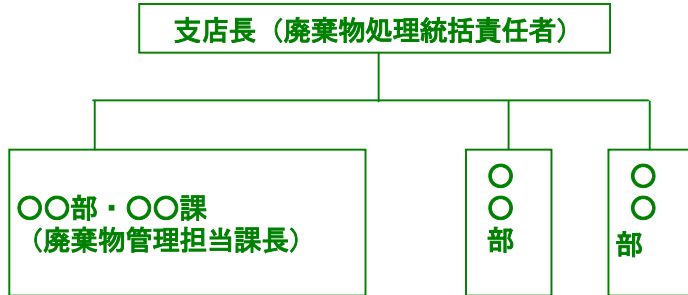
当該事業場において生ずる全ての産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は委託の内容を含む。)を記入してください。

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物処理に関する管理組織図、教育・研修、情報公開等について記入してください。個人名は記載しないでください。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の種類ごとに前年度の実績値を記入してください。種類が3種類以上ある場合は「別紙のとおり」と記入し、別紙を添付してください。(以下同じ)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (令和〇〇年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	排出量	〇〇〇〇 t	〇〇〇〇 t
	(これまでに実施した取組) 梱包材や養生材を過剰にせず、必要最小限としている。		

産業廃棄物の種類ごとに、当該計画書の計画期間における目標量を記入してください。

取組内容については、現在実施している取組の内容を具体的に記入してください。(以下、分別、自ら処理及び委託処理に関する事項についても同じ)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	排出量	〇〇〇〇 t	〇〇〇〇 t
	(今後実施する予定の取組) 発生抑制に関する社内研修を定期的実施する。		

計画については、当該処理計画書の計画期間で実施する予定のある場合はその取組内容について具体的に記入してください。(以下、分別、自ら処理及び委託処理に関する事項についても同じ)

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類、木くずについて分別している。石綿含有産業廃棄物については、確実に他と混じらないようにチェック体制を強化している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック類、紙くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くずについても分別を徹底する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和〇〇年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	〇〇〇〇 t	〇〇〇〇 t
	(これまでに実施した取組) 特になし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	〇〇〇〇 t	〇〇〇〇 t
	(今後実施する予定の取組) 再生利用に関する情報収集を行う。		

自社で再生利用した産業廃棄物及び自社で中間処理した後に自社で再生利用した産業廃棄物について記入してください。

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和〇〇年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	〇〇〇〇 t	〇〇〇〇 t
(これまでに実施した取組) 特になし。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	〇〇〇〇 t	〇〇〇〇 t
(今後実施する予定の取組) 選別施設等の設置を検討する。			

自社の焼却施設で熱回収を行っている場合は、熱回収に利用した廃棄物の量（焼却前の重量）を記入してください。

自社による中間処理（焼却・脱水等）によって、廃棄物の重量を減らした場合は、減らした重量を記入してください。

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和〇〇年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組) 特になし。	〇〇〇〇 t	〇〇〇〇 t
	自社の処分場への埋立処分又は海洋投入処分した産業廃棄物及び自社で中間処理した後に自社の処分場への埋立処分又は海洋投入処分した産業廃棄物について記入してください。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組) 埋立処分についての情報公開を実施する。	〇〇〇〇 t	〇〇〇〇 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和〇〇年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	全処理委託量	〇〇〇〇 t	〇〇〇〇 t
	優良認定処理業者への処理委託量	— t	— t
	再生利用業者への処理委託量	〇〇〇〇 t	〇〇〇〇 t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	〇〇〇〇 t	〇〇〇〇 t
(これまでに実施した取組) 委託基準に基づき、委託可能な処理業者を選定している。 委託実務に関する社内研修を定期的実施している。			

平成 23 年 4 月から認定が開始された優良認定処理業者へ委託を行った場合に記入してください。

再生利用されることが確実な業者へ委託を行った場合に記入してください。

平成 23 年 4 月から認定が開始された認定熱回収業者に委託を行った場合に記入してください。

認定業者以外の熱回収業者に委託を行った場合に記入してください。

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	全処理委託量	〇〇〇〇 t	〇〇〇〇 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	— t	— t
	再生利用業者への 処理委託量	〇〇〇〇 t	〇〇〇〇 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	〇〇〇〇 t	〇〇〇〇 t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>委託した処分場等の現地確認を定期的実施する。</p> <p>できるだけ優良認定処理業者から選定する。</p>		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。